

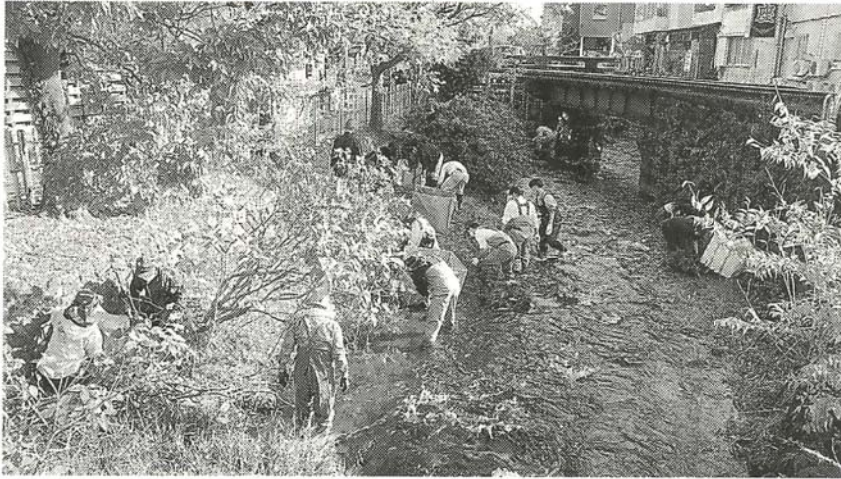
令和5年(2023年)12月31日

県内初 GW三島が受賞

日本水環境学会の表彰 改善や再生、体験 評価

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島(GW三島、小松幸子理事長)はこのほど、日本水環境学会が水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著な団体・個人を表彰する「2023年度水環境文化賞」に選ばれた。26回目となる今回は4団体が選ばれ、県内の受賞者は初めてという。

(伊豆日日新聞 北島彰浩)



源兵衛川で活動に取り組むGW三島の会員ら＝三島市(提供写真)

GW三島は設立した管理放棄による荒れた1992年から源兵衛川松毛川でも環境改善活動の環境改善活動、希少種の生息環境再生活動に取り組んでいる。2003年ごろからは子どもたちを対象とした水辺再生、生物多様性を学ぶ現場体験型プログラム

プログラムも実施している。今回の受賞はこれらの活動が評価された。GW三島の渡辺豊博専務は「30年にわたる活動の手法、効果、成果が認められたことがうれしい。受賞は活動に協力してくれるボランティアの皆さんのおかげ」と感謝した。表彰式は3月7日、福岡県の九州大伊都キャンパスで開かれる第58回日本水環境学会年会で行われる。同賞は1997年の開始以来、23道府県の43団体・個人が受賞している。